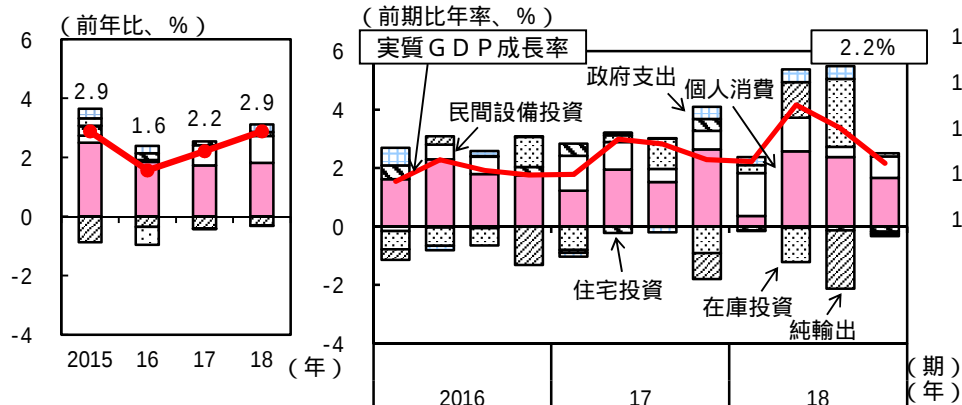


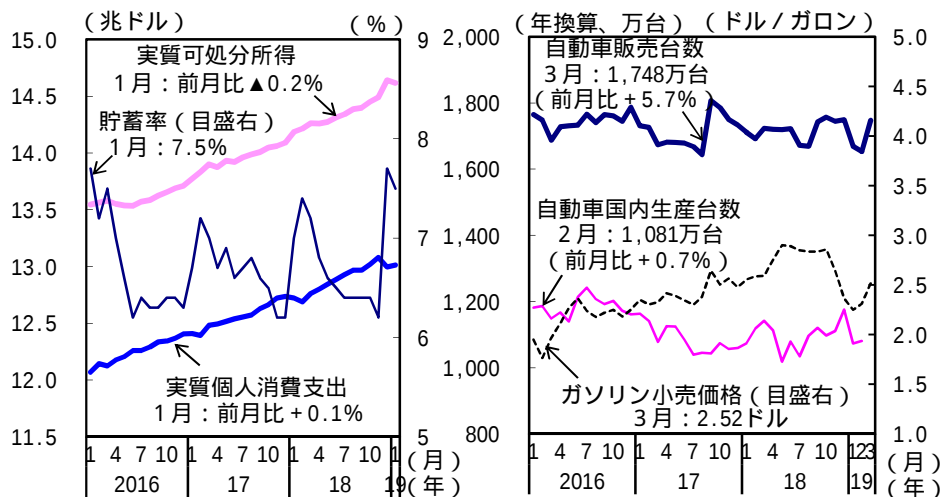
○アメリカでは、景気は着実に回復が続いている。

実質GDP成長率（3次推計値）



(備考) 2018年10 - 12月期の寄与度(%)は以下のとおり。個人消費：1.7、民間設備投資：0.7、住宅投資：▲0.2、在庫投資：0.1、政府支出：▲0.1、純輸出：▲0.1。

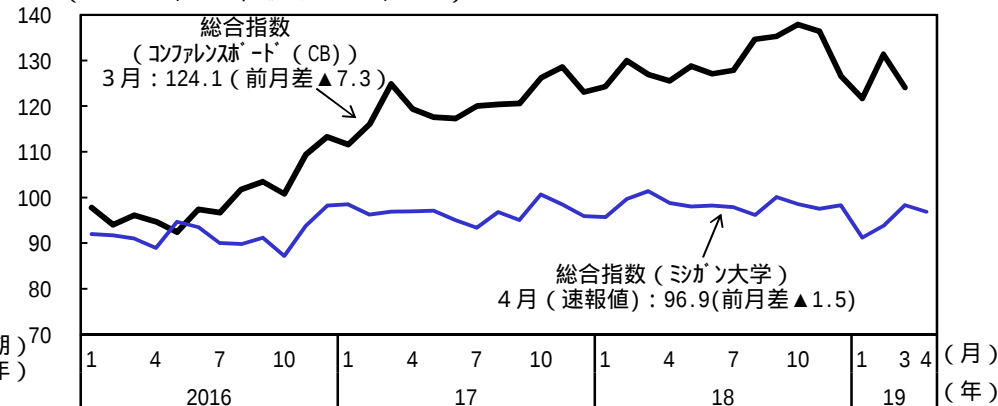
消費は増加、自動車販売台数はこのところ弱含み



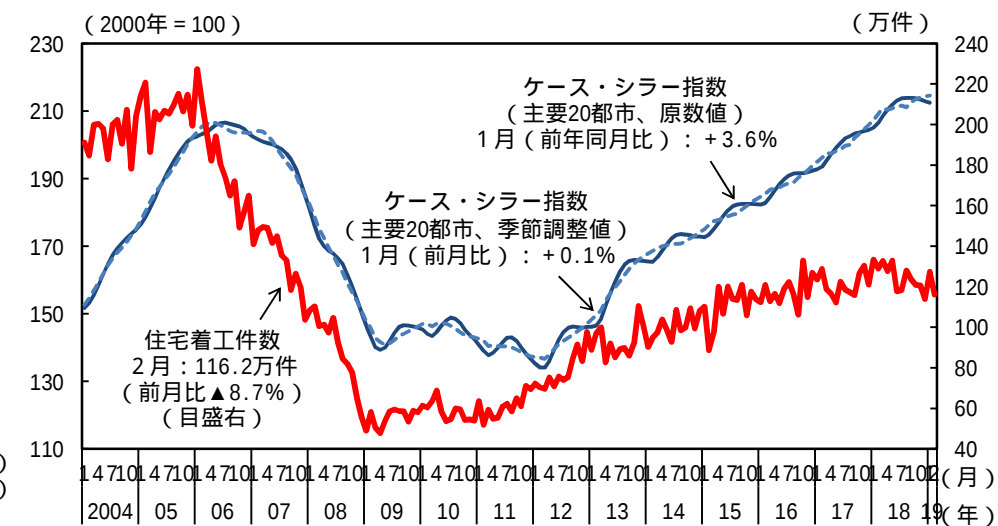
(備考) 月次の値は年率換算。

消費者信賴感指數

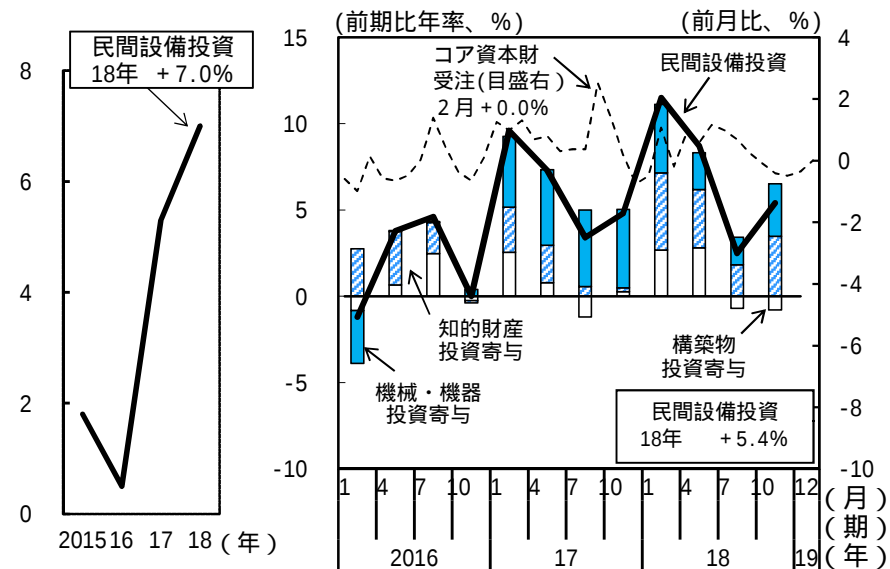
(CB: 1985年 = 100、ミカソ: 1966年 = 100)



住宅着工はおおむね横ばい、住宅価格は伸びがやや低下

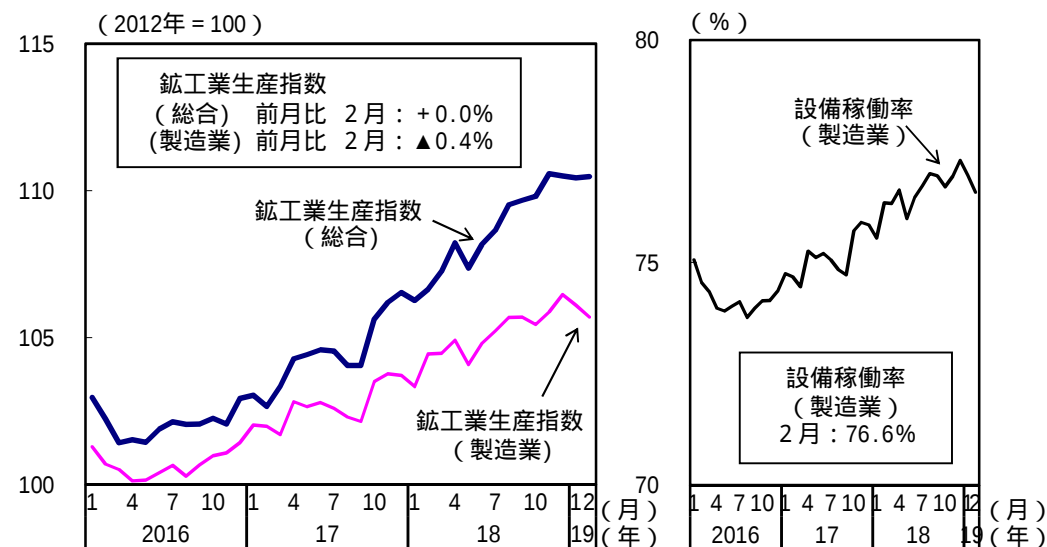


設備投資は緩やかに増加

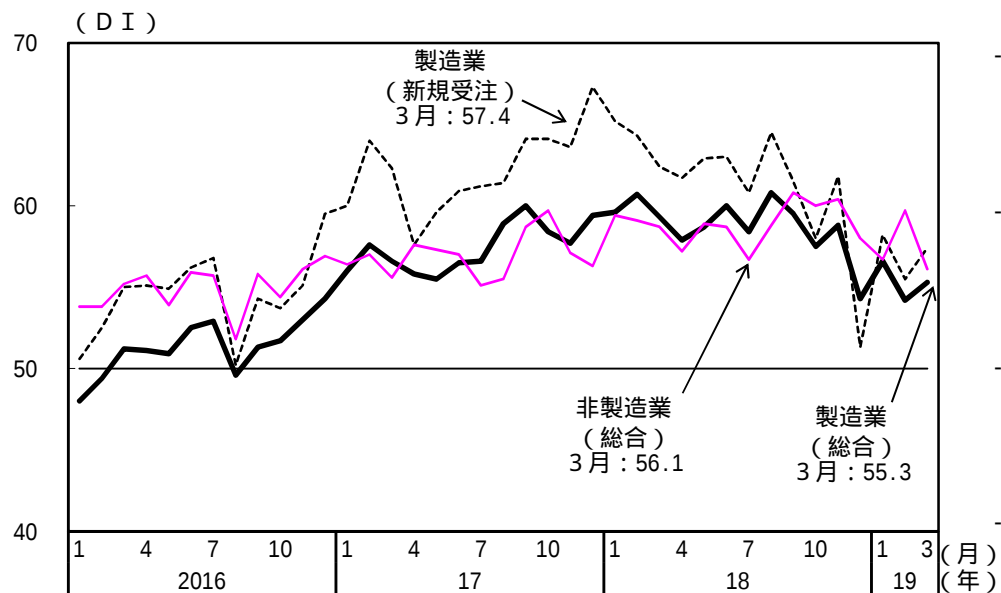


(備考) コア資本財受注は3か月移動平均値。

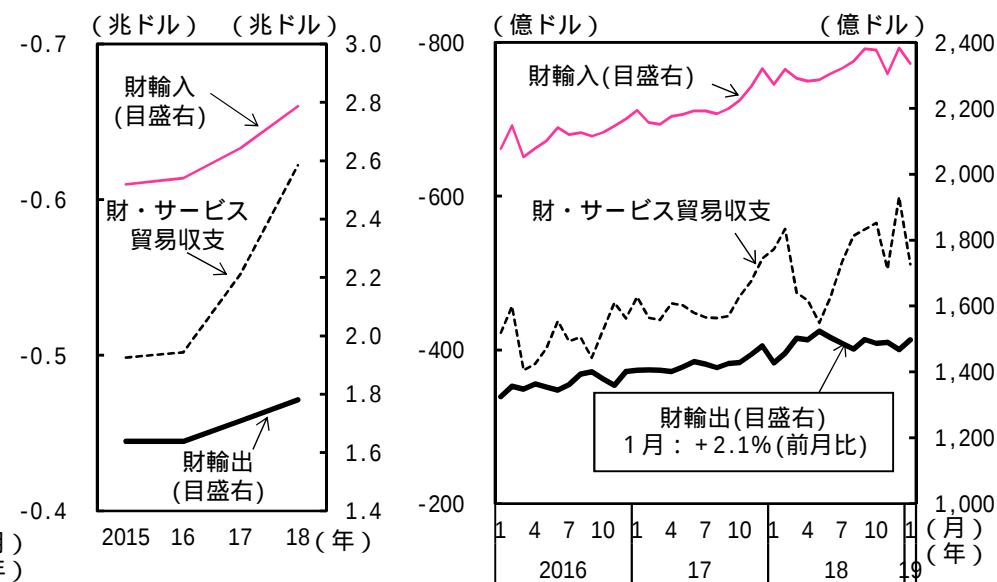
生産はこのところおおむね横ばい



製造業の景況指数はこのところおおむね横ばい

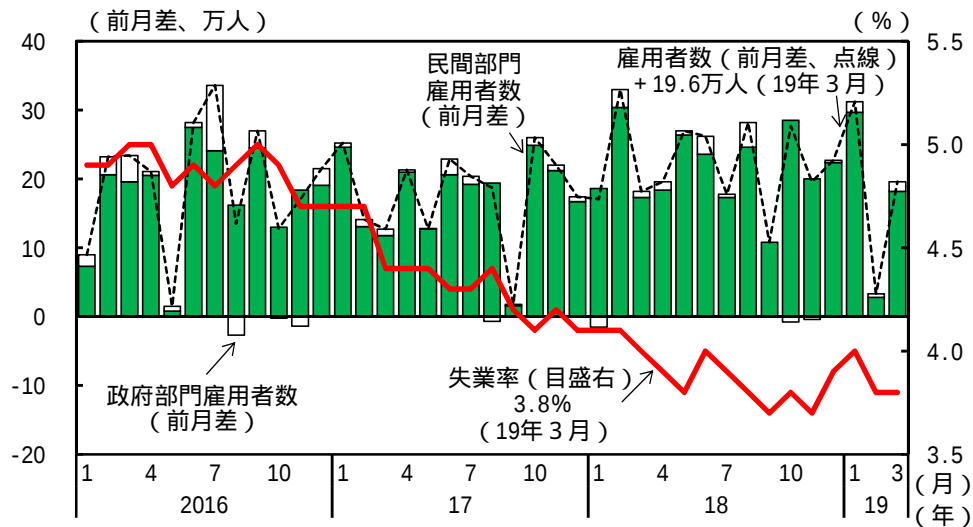


財輸出は弱い動き



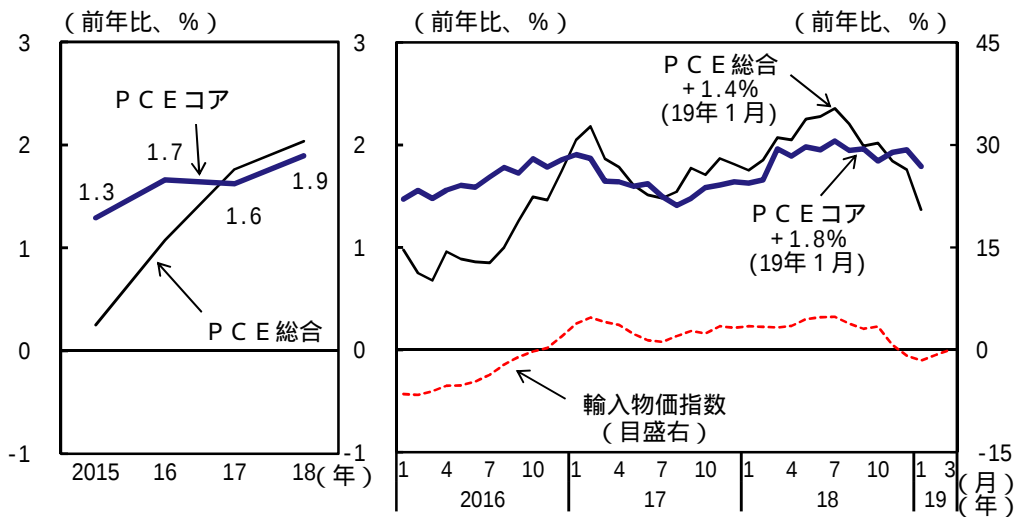
(備考) 財輸出入は通関ベース(実質)、財・サービス貿易収支は国際収支ベース(名目)。

雇用者数は増加、失業率は低下傾向



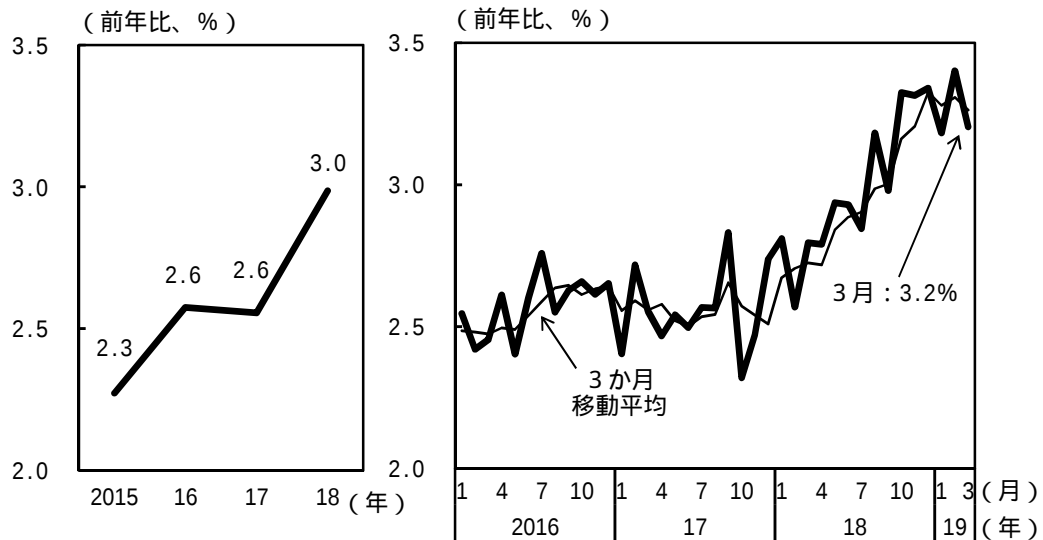
(備考) 雇用者数は非農業部門。

コア物価上昇率は安定



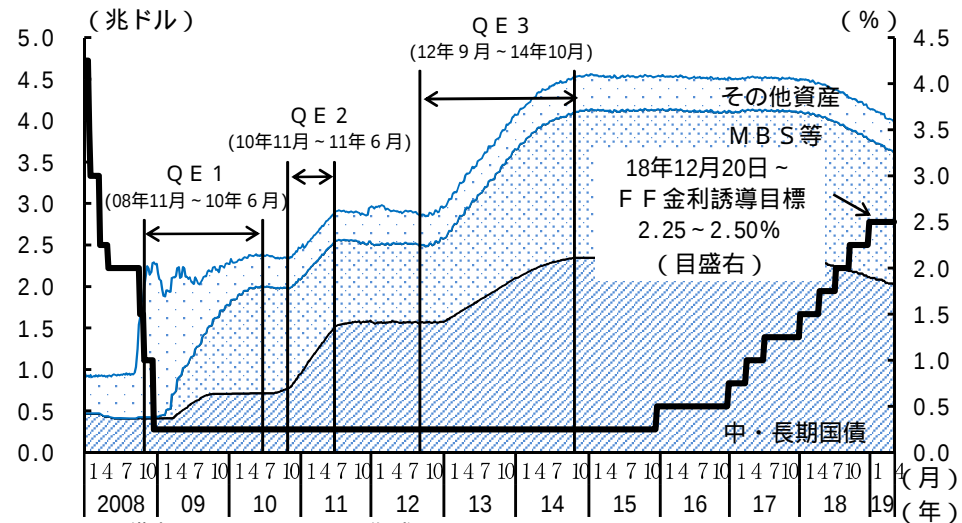
(備考) 1. 上図のPCEは、個人消費支出デフレーターを指す。
2. コア指数は、総合指数からエネルギーと食品を除いた指数。

賃金の伸びは高まっている



(備考)賃金の伸びは全雇用者の時間当たり賃金の前年比。

金融政策



(備考) 1. FRBより作成。
2. FF金利誘導目標については、上限を指す。